

葉 しおり

第55号

発行 令和3年9月
発行人 岸 千草
表千家札幌地区青年部
札幌市中央区南2条西12丁目
323番地 太宝ビル1階
表千家同門会札幌支部内
電話(011)210-0440 (〒060-0062)



開拓の村茶会にて（令和元年8月18日）

日々是好日

「毎日毎日がよい日」。今まで何気なく「毎日」を過ごしてきましたが、コロナ禍になり毎日が一变してしまいました。変わらない日々、変わらない生活こそが「平和」なのかもしれません。時間を大切に過ごすこと、一瞬一瞬を大事に生きること、そういった日々の積み重ねが素晴らしい一日につながっていくことと思います。

ご挨拶

表千家札幌地区青年部 部長

岸 千草

日頃より札幌地区青年部へのご支援ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせておりました栞55号をこの度、一年ほど遅れましたが発行させていただきます。

一昨年の開拓の村茶会においては、建物の改修などの都合により野点の会場が例年の武井商店から広瀬写真館へと変更になりました。水屋や運びの動線など見直す点が多々ありましたが、参加者一同で相談し当日を迎え無事に終えることができました。天候にも恵まれ一服のお茶はお客様にも喜ばれたと思っております。

昨年度はコロナ禍の状況で青年部として毎年繰り返し行われていた行事ができないまま一年が過ぎてしまいました。日常が急変し茶道活動ができず残念でなりません。以前のように安心して青年部の仲間たちとお茶を点てられる日々が一日でも早く戻ってくることを祈るばかりです。

会員皆様のご参加が活動の支えとなっております。茶歴や年齢は様々ですが、ご一緒に活動を通じて楽しく学ばせて頂いております。青年部会員の皆様並びに会員を推薦していただきました先生方々へ感謝申し上げます。重ねてこれまでご理解ご指導いただきました同門会本部・支部の先生、研修会などでお世話になりました講師の方々へ感謝申し上げます。

平成二十九年度より三年の任期中に、平成から令和へと年号も代わりました。青年部では社中の垣根に関わりなくいつもと変わらず活動が続いておりますが、今後はどのように活動を行えるか手探りです。昭和・平成・令和と諸先輩方が築いてこられた青年部活動を一人でも多くの仲間と今後も茶道の魅力を次の世代へ繋がりりますことを願っております。

開拓の村茶会

於 北海道開拓の村

令和元年八月十八日(日)

開拓の村茶会に参加して

豊川 美穂

令和元年八月十八日、開拓の村茶会に参加させていただきました。

例年利用させていただいている旧武井商店が改修工事のため使えず、今回は旧広瀬写真館での開催となり、勝手が違うので、部員で動線を確認しながら動いておりました。会場がメインストリートから離れており、来客の少なさを懸念しておりましたが、実際は天候もあつてか、多数のお客様に来場していただきました。先生方や兄弟子・姉弟子も多数ご来場いただき、普段のお稽古の成果を発揮しておりました。

私は前半はお運び、後半は水屋作業をさせていただきました。今回参加できる部員が少なかったため、どちらも忙しかったのですが、ベテランの先輩方による連携がしっかり取れていて、お客様にご迷惑をかけることもなく、スムーズに進行いたしました。私自身は二回目の参加であり、まだ不慣れではありますが、先輩方の丁寧なご指導のおかげでミスもなく動くことができました。

今回の課題は、参加部員数の少なさであると思います。現在入会している部員の参加数の増加や、新たな部員の入会を促し、参加人数を増やすことにより、より余裕を持って呈茶ができるようになる、と感じました。

研修会

於 サッポロファクトリー

令和元年十一月十日(日)

青年部研修会(陶芸体験)に参加して

島田 文雄

毎年青年部では研修会として様々な体験を企画されておりますが、とりわけ、茶道で使用する道具類の制作に関する体験は大変貴重なものと思っております。今回は陶芸の体験で、しかも茶道では最も多く触れているであろう、茶碗の製作とのことで、興味深く参加させて頂きました。

今回は「ろくろ」を使用して茶碗を製作する体験でした。(私としては「手捻り」の方に興味があったのですが)。普段の稽古で



は先生から茶碗の製作がどのようなものかをお聞きすることはありますし、また、テレビなどで見る機会もありましたのでなんとなく製作の手順は知っておりましたが、体験するのは初めてのことでした。

さて、体験の内容ですが、本来は茶碗の製作には三日以上かかるそうで、今回は一日だけなので、ろくろで成形するところまででした。

最初に講師の先生より、茶碗を作るときに大事な茶碗の機能についての説明があり、その後各自完成時のイメージ図を紙に書くのですが、今回はあまり使い易さなどは考えず作りたい形でデザイン

してみても、色々思案をしたのですが、結果的に私を含め他の参加者もあまり奇抜な形のデザインは無



かったようです(笑)。

ちなみに私は馬上杯型の茶碗が好きなのと割り高台が好きなので、高台の形に工夫をしてみました。

その後、

粘土をこねて、ろくろで成形していくのですが、これがなかなか難しく思ったようにいきません。茶道の所作もそうですが、手の動かし方や姿勢、その時の気持ちなど色々な要素で出来上がりに差ができると感じました。また、先生や他の方のやっているところをよく見ることも大事で、やはり経験(稽古)を重ねることが重要なのだと思いました。

今回の体験はろくろ体験まででしたが、陶芸の面白さの一端を知ることができましたし、これからの茶道の稽古にも活かせられればと思います。今度機会があれば、最後の工程まで挑戦してみたいと思います。



おしらせ

令和三年度の主な行事

◇ライラック協賛釜…とりやめ

大通公園で行われるさつぽろライラックまつりにて添釜を担当予定でしたが残念ながらとりやめとなりました。

◇開拓の村茶会 …とりやめ

北海道開拓の村にて開拓の村茶会を実施予定でしたがとりやめとなりました。

◇総会 …九月五日

支部総会と同日に京王プラザホテルにて開催予定です。

◇研修会 …九月～十一月

お茶にまつわる研修会を実施予定です。

◇葉発行 …三月予定

※新型コロナウイルス感染症の影響により延期、またはとりやめになることがあります。

入会のお申し込みについて

入会のお申し込みはハガキまたは所定の申込書に左記様式でお願いいたします。入会資格は不審菴入門者で十八歳から四十五歳までの青年男女です。年会費は二千元で入会受付後、下記までお振込みください。お振込みは手数料がかかりますのでご了承ください。
(平成二十七年より振込口座が変更になっています。)

〈入会申し込み宛先〉

〒〇六〇・〇〇六二

札幌市中央区南二条西十二丁目

三三三番地 太宝ビル一階

表千家同門会札幌支部内

表千家札幌地区青年部

「表千家青年部入会申込書」
・氏名(旧姓)(ふりがな)
・郵便番号・住所
・電話番号(市外局番から)
・生年月日・性別
・現在の先生の氏名(推薦者)
・入門取得年月と取次時の先生氏名
・同門会に入会している場合は、支部会員番号

〈振込先〉

◆ゆうちょ銀行

記号…19030

番号…20426781

表千家札幌地区青年部

◆その他の金融機関からのお振込み

店名…908(キョウゼロハチ)

店番…908 普通預金

口座番号…2042678

表千家札幌地区青年部

編集後記

昨年の葉の編集作業中にコロナ禍になり、思うように編集作業ができなくなり…一年越しでやっと発行にこじつけることができました。内容はかなり前のものになってしまいましたが、こいうやって読み返してみると今では実施や参加することが厳しいものばかり。日常がこんなにも貴重なことで、何気ない日々を簡単に過ごしてしまっていたことに改めて気づかされました。まさしく表紙の「日々是好日」。コロナ禍にならなくても気づかなければならないことですが、今回気づくことができ良かったのかもしれない。同じ時間とは二度とない。大事に生きます。(丹)